

お弁当に添えられた手書きのメッセージカード



一人暮らしの高齢者宅を訪問する中学生

年末に中学生が一人暮らしの高齢者・障がい者宅にお弁当を配達 「歳末ふれあい弁当配食事業」 世代を超え、地域の絆を深めました。



10年に一度の最強寒波の襲来で、外出を控えるよう求められた昨年12月23日(土)、小須戸中学校の生徒9名が秋葉区社会福祉協議会と小須戸・山の手コミュニティ協議会と協働で、弁当の受け渡しを通じた安否確認と同居老人の孤独感を和らげることを目的に、小須戸地区41世帯、山の手地区34世帯に歳末ふれあい弁当を配達しました。

生徒たちは「お元気ですか？体調にお変わりはありませんか？年末年始もお元気に過ごしてください。」と声を掛けると共に、手書きのメッセージカードを添えて、弁当を配達していました。

秋葉区他の地区でも配食事業は行っておりますが、平成24年より12年も継続して中学生の配達ボランティアが関わっているのは小須戸地区だけです。

中学生らは思いやりと優しさをもって、高齢者と笑顔で温かなコミュニケーションを図っていました。

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

・ホームページ

・Facebookの情報も随時更新中

中学1年生時から3年連続で配達ボランティアを行っている 長内 あかりさんの感想

私は今回で3度目のボランティアをしました。このボランティアでは、地域のお年寄りや一人暮らしの障がい者の方々にお弁当を届けるというのですが、目的はお弁当をただ届けることではなく、そこに思いをのせて渡すということです。

私は、最初のときこそ、緊張していましたが、2回、3回と参加するうちに、思いをのせて渡すということにも慣れ、無事に活動を終わることができました。

このボランティアに参加する中学生の人数は少なくなっていますが、こんなに素敵な活動を中学生の人数不足でなくすわけにはいきません。どうか、このボランティア活動が長く続きますようにと、祈るばかりです。

小須戸老人福祉センター「リバーサイドシネマ」

第8回 3月12日(火)13時半～の 上映作品は
「人生ごっこ」

死んでみて、初めて知った。人生は、やり直せるー。
「生きる」ということ。その真の意味を問いかけて

世界の映画祭で称賛を浴びたヒューマン・ファンタジー!!
出演：斎藤洋介、峰岸徹、根本博成、石橋けい他
第13回ミンスク国際映画祭コンペ部門映画記者審査員
特別賞受賞ほか

※映画だけの入場は無料。当日直接会場へお越しください。

冬期間の火災予防と119番通報 秋葉消防署小須戸出張所 (冬の火災について消防からのお知らせです)

<暖房器具の取り扱いに注意!>
冬は、石油ストーブを原因とする火災が増えます。主な原因は、
・衣類やカーテンに着火する。
・ガソリンを間違えて給油し異常燃焼する。
・給油時にキャップの締め付けが緩く、漏れた灯油が熱いストーブにかかり発火する。等があります。
※対策は、ストーブの周囲にものを置かない、給油は消火してから行い、キャップは確実に締めましょう。

<火事・救急・救助は119番!>
新潟市消防局は、119番通報が入ると通報した場所が瞬時に分かり短時間での出動が可能です。最寄りの消防署や出張所へ電話を掛けた場合、住所を聞き取り地図で場所を確認した後出動するため、時間が掛かります。時間とともに火災は拡大し、救急は重症化する恐れがあります。火事・救急・救助は、119番通報をお願いします。

公民館報編集委員を募集します

公民館事業や地域の明るい話題を提供する公民館報の編集委員を募集します。

毎月第三火曜日の「公民館報編集会議」への参加と、数か月に一度「ちょこつ一言」の執筆依頼、「編集委員のつぶやき」の執筆をお願いします。

ご興味のある方は小須戸地区公民館(電話 0250-25-5715)までお問い合わせください。

「小須戸中学校・科学研究部」

久保 康雄さん (旧小須戸町四之町在住)

中学入学で直ぐに入門した科学研究部での研究テーマは「水草による光合成と呼吸の関係」でした。これで数年ぶりの日本学生科学賞の優秀賞に選ばれましたが、県の研究発表会では県知事賞第一位を受賞し、これは3年連続で達成しました。でも、目標は全国で競り勝負した科学研究部での最優秀賞でした。

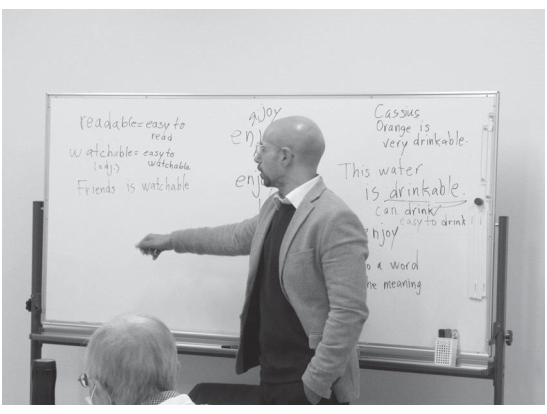
中学2年では「光合成と呼吸の関係第2報陸上の植物」であり、実験装置から測定マニュアルまで全てを手作りして、

これで念願の日本学生科学賞・最優秀賞を受賞しました。

中学3年では研究企画から2年連続の最優秀賞を目指しましたが、残念ながら優秀賞に留まりました。

昭和30年代後半～40年代前半の小須戸中学校の科学研究部は、理科教師陣の御指導で県内屈指の成績を誇りましたが、そこには伝統を受け止めて真つ直ぐに取り組む中学生たちがいたのです。

小須戸文化協会サークル紹介 vol.5 「英会話」(協力：小須戸文化協会)



英会話は毎週月曜日 19時から20時30分まで「まちセン」でアメリカ人講師のシヨーンさんをお呼びして、英語でのコミュニケーションの取り方を楽しく学んでいます。

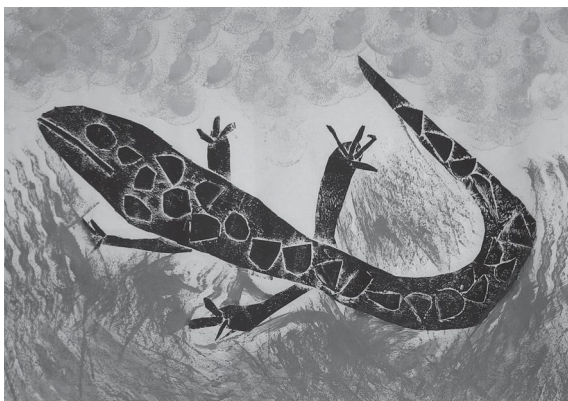
12月18日(月)の活動日には、各自最近の出来事について発表し、その内容について英語で質問したり、文法を確認したりしました。

見学・体験など希望者は38-3087(小柳えり子さん)までご連絡ください。

編集委員のつぶやき

「第2回小須戸地区カーリンコン大会」申込締切2月21日(水)迫る! ◆日時 3月3日(日) 8:30~15:00 ◆会場 小須戸体育館
◆参加資格 どなたでも(小須戸地区在住・在勤・在学の方) 3人1組 先着16チーム ◆参加費 1チーム 1,000円
◆申込先は小須戸コミュニティ協議会事務局(まちセン2階) ☎0250-47-3665 ◆参加賞・上位入賞チームには賞品あり!(た)

第54回県ジュニア美術展覧会入賞作品紹介



【奨励賞】足がはやいカナヘビ
佐藤 介星さん(小須戸小2年)
ぼくの大好きなカナヘビです。ずっとお世話をしていました。せなかの模様をつけたら、すてきになりました。ていねいにインクをつけました。



【優秀賞】本気でたたかうおうえんだん
川瀬 遙花さん(小須戸小4年)
運動会でおうえんだんになり、おうえん合戦を勝つぞという気持ちでやりました。人をたくさんかいてリアルに表す工夫をしました。



【特賞】ある日のバスの中
大田 陽葵さん(小須戸小4年)
スイミングの級が上がらなかったけど、夜空を見たら少し元気が出たときの絵です。重ね塗りをしたら暗さの中に明るさが出ました。



【奨励賞】サーカスのテントをたてたよ
にいだ あきなさん(小須戸小1年)
わたしは、「虫たちのサーカス」という本を読んで、そうぞうしたことをえにかきました。テントの中では、虫たちがうたっています。



【奨励賞】ひさしぶりのけんかとうろう
藤田 敬大さん(小須戸小4年)
ひさしぶりのけんかとうろうを見て、おもしろかったうれしかったです。くりかえし色をぬっていい緑色ができました。



【奨励賞】6年間すごした教室
川瀬 穂華さん(小須戸小6年)
自分の描き方を出すために教室の床の場所によって色を変えるところを工夫しました。また、上手にできたところは机と椅子です。

小須戸地区図書室 新刊案内
【一般書】
『あなたが誰かを殺した』 東野 圭吾/著(講談社)
『今日から始める家庭の防災計画』 高荷 智也/著(徳間書店)
『50代はやめどき、捨てどき、楽しみどき』 原田 さよ/著(扶桑社)
『図書館のお夜食』 原田 ひ香/著(ポプラ社)
『777 TRIPLE SEVEN』 伊坂 幸太郎/著(講談社)
『80歳でも脳が老化しない人がやっていること』 西 剛志/著(アスコム)
『北陸・金沢'24 まっぴるマガジン 北陸 02』(昭文社)
『ヨモツイクサ』 知念 実希人/著(双葉社)
【児童書】
『コールドテックのポケット』 ドン・フリーマン/作、木坂 涼/訳(好学社)
『「はい」「いいえ」ほうこく』 浜田 桂子/作(理論社)

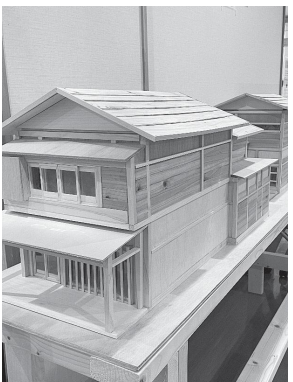
秋葉区健康福祉課「健康ひとロメ」
◆認知症について◆
・誰でも年を重ねることに物忘れは多くなりますが、加齢による物忘れは、忘れていくことに自分自身が気づいていて、ヒントがあれば思い出したりできます。認知症は、「ごはんを食べたこと自体を忘れる」「今の季節、日にちや時間が分からない」等、生活に支障をきたしてしまいます。
・適度な運動、バランスのとれた食事、良く噛んで食べる等を心がけてください。また、睡眠は心と体の健康を保つために大切です。良い生活習慣を継続すること、日々の生活を工夫したり楽しむことが認知症予防につながります。
・ご家族や身近な方で、認知症と思われる方がいましたら、精神科、心療内科、物忘れ外来などの専門医に相談しましょう。また、「地域包括支援センター」へお気軽にご相談ください。

短歌 (自由吟) 川柳 (くめでたい) 俳句
降り続く雪をし案じ庭見れば 高橋 キヨ
寒風を受けて外さる閉店の看板愛し時は移りつ 久保 ミネ子
柿の実をメジロが数羽ついでに 久保 ミネ子
屋根に雪白く師走の朝に 久保 ミネ子
ありがとう辰年よろしく抱負なれ 奉 和 崇
めたいね米寿の祝い夢のよう 能登 としお
期待して賽銭弾む初詣で 保科 志枝
赤飯と好物並ぶ目出度い日 浄 栄
老夫婦足腰元気日々笑顔 会田 修
いつまでもけんかが絶えずおめでたい 保科 崇二
来年の今日を信じて年惜しむ 中野 太浪
八十路坂歩幅小さく年の暮 吉田 松子
しつとりと赤い鴨肉解禁日 間野 えり
めでたさも言葉に出せず余震なほ 本多 玲子
孫よりの安否確認初電話 吉澤 文子
父祖の墓飛び交ふ寺の初詣で 馬場 綾子
大木の紅いサザンカ雪の間に 岳 メイチゲ
母が言う栄養の鱈汁湯気立てて

俳句・川柳・短歌募集
題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、締め切りは2月20日(火)となります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

文芸欄

小須戸の町屋「薩摩屋」の模型
「薩摩屋」(小須戸本町2丁目)の模型がこの度完成しました。これは小須戸コミ協が昨年秋頃に田上町にお住まいの山際博さんに制作を依頼したもので、実際の1/20の縮尺で全長217cm、制作期間約70日の大作です。写真ではなかなかサイズ感が伝わらないかもしれませんが、町屋特有の間口が狭く奥が長い造りを見てみてください。
模型は現在「町屋ギャラリー薩摩屋」で展示しています。2月1日(木)から開催中の「ひな・町屋めぐり」の会場にもなっているので、会場にお越しの際はぜひ模型と実際の建物を見比べて楽しんで下さい。
この模型は今後、小中学生の地域学習の教材や、地域外からの視察研修の際などに広く活用していきます。



山の手コミュニティ協議会
《山遊さん》
～山へ遊びに行きませんか～
参加者募集!
矢代田の子どもたちは、旧暦の桃の節句(4月3日)になると雛祭りの菱餅にならない『ひし形餅』を持って山へ遊びに行き、一日中楽しんでさうです。
この習わしを復活させ、みんなで山へ遊びに行きませんか?
日時 4月3日(水) 小雨決行 8時45分集合
集合場所 大沢森林公園
行程 9時 大沢公園 ⇒ 11時 高立山(休憩) ⇒ 12時 大沢公園
※状況により、変更になる場合があります。
定員 20名(先着順)
参加費 300円(餅・保険代)当日徴収します。
持ち物 タオル、飲み物、雨具等
問合せ・申込 3月26日(火)までに小須戸地区ふれあい会館へお申し込みください。 Tel0250-38-3151(月曜・祝日休館)
注意事項 山に登りますので、動きやすい服装と靴でお越しください。小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。トイレは大沢公園にしかありません。ご注意ください。
共催:小須戸地区スポーツ振興会・山の手コミュニティ協議会・小須戸コミュニティ協議会